

日光・足尾山塊の展望台の岩山へ
石裂山

実施日 2015年5月2日(土)
 天候 快晴
 リーダー 伊藤 久雄
 参加者 涌井良明、遠井謙策、伊藤久雄、石原勝正、徳山敬子、峯川弘子 計6名
 費用 2,386円(浅草起算) 車1,900円 計4,286円
 タイム 新鹿沼駅(9:10) 加蘇山神社(9:40) 竜ヶ滝(10:00) 千本桂(10:10) 中ノ宮(10:30) 奥ノ宮(10:40) 東剣ノ峰(11:30) 西剣ノ峰(11:45) 石裂山(12:05~12:40) 昼食(12:50) 竜ヶ滝(13:37~47) 石裂山BS(14:10) 新鹿沼駅(14:40)

全国的に真夏日が予想されるほどの好天になり連休初日でもあり電車も満員である。バスの便が悪いのでタクシーで登山口の加蘇山神社に向かう。到着するまでに20台ほどの車が停まっていた。



長い神社の階段を無事上り今日一日の事を祈り参拝する。登山口から登り始める。沿って緩やかな道を行くと清滝、竜ヶ滝、栃木県の銘木百選にも選ばれた、推定樹齢1000年と言われる「千本桂」が現れる。そこから少し行くと東屋がある「中ノ宮」に着く。

前方の岩に梯子や鎖が見える。一見すると迫力が有り転落注意の立て看板もあり身構えるが登ると直径が1センチ位の太い鎖が垂れ下がっており握って登れない程重たい。慎重に登れば見た目よりは

大丈夫である。10分程で「奥ノ宮」に着くと、また長い梯子が現れ登ると石裂岩にカエルが口を開けたような大きな裂け目に鳥居と祠が祀ってある。お参りをして少し戻り先を行くと今度は木の根が張り巡らされた急斜面



を根をつかまりながら登って行く。左に行くとき「東剣ノ峰0.3k」という立て看板の有る所で右前方にある岩に登れば景色が良く見えるのではないかと思いきや、景色はそこそこでも足元に真っ白なイワカガミがびっしりと群生しておりラッキーで感動でした。

「東剣ノ峰」に着くと30m程をほぼ垂直に梯子で一気に降りる。少し登り返すと「西剣ノ峰」に着く。今度は左、右と向きを変えながら梯子を降りていく。降ろす足元が見えない所も有り緊張させられる。降りたところが御沢峠である。今度は目の前の岩山を登り返ししばらく行くと石裂山の山頂に出る。山頂は狭いが北西の方角だろうか左にまだ雪が残る日光白根山、右に男体山が見える。ここで昼食にする。食べ始めるとT・Kさんがこぶし会のS・Sさんに似た人が来たと言うので振り返ると何と本人である。

急きよ時間が空いたので単独で登ってきたとの事でした。食事やお喋りを楽しんだ後月山に向かって下山を始める。緩やかに下っていき最後の急坂を登ると月山に着く。此処からは石裂山と同じような景色に加え太郎山、大真名子、子真名子、女峰山と一家でお出迎えである。月山からは岩場交じりの急坂や鎖もあるが淡々と高度を下げていく。暫くすると沢に沿って石ゴロゴロのざれ場になり落石に注意しながら下っていく。両側は去年の大雪の影響で軒並み倒木の山である。竜ヶ滝の東屋に着くとS・Sさんが待っていて石裂山BSまで一緒に下山したがバスが来る時刻にはまだ大分時間が有るのでS・Sさんの車で新鹿沼駅まで送ってもらいました。S・Sさん有難うございました。

低山ではありましたが鎖場、梯子、岩場、お花(新・花の百山)と山の魅力がギュッと詰まった良い山でした。

(記&写真・伊藤 久雄)
(写真提供・涌井 良明/石原 勝正)



低山ではありましたが鎖場、梯子、岩場、お花(新・花の百山)と山の魅力がギュッと詰まった良い山でした。

